

マナベヨトメゴ

東京家政大学創立140周年記念 特別企画展

裁縫雛形 と 自主自律の教え

学内限定公開

2021年11月4日(木) ~ 12月9日(木)

入館無料 | 開館時間 | 10:00~16:30 | 休館日 | 土曜・日曜・祝日



東京家政大学博物館

東京家政大学内・百周年記念館5階展示室

〒173-8602 東京都板橋区加賀 1-18-1 Tel. 03-3961-2918

<https://www.tokyo-kasei.ac.jp/academics/museum/>

新型コロナウイルス感染症等の事由により会期等が変更になる場合があります。最新の情報は当館HPをご確認ください。



裁縫雛形と 自主自律の教え

2021年11月4日(木) ~ 12月9日(木)

[開館時間] 10:00~16:30 (入館は閉館の30分前まで)

[休館日] 土曜・日曜・祝日

[入館料] 無料 学内限定公開

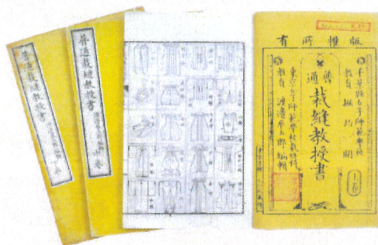
学校法人渡辺学園東京家政大学は、明治14(1881)年に渡邊辰五郎わたなべたつごろうが開いた私塾「和洋裁縫伝習所」にはじまり、令和3(2021)年に創立140周年を迎えました。

明治時代に入って近代的な教育制度が整備されるなかで、女子の就学率を上げるために授業に取り入れられた「裁縫」の教師として、明治7(1874)年、渡邊辰五郎は故郷(現在の千葉県長生郡)の長南小学校に迎えられました。

学校教育という一斉教授の場で裁縫を教えるにあたり、渡邊辰五郎は教科書や裁縫掛図等の教材を工夫して、様々な裁縫教授法を生み出しました。衣服や生活用品を縮尺で製作する「裁縫雛形」はその最たるものです。これらの画期的な教授法は教育界の注目を集め、裁縫をひとつの主軸とした近代女子教育の基礎が築かれたことで、女性が自律した人生を歩む可能性が広がることとなりました。

本展では、裁縫雛形を明治・大正・昭和の時代に区切って展示し、本学の歴史をたどりながら、渡邊辰五郎の教えと女子教育にかけた想いをひもときます。

また、本学で現在行われている裁縫雛形研究の一端を紹介し、裁縫雛形の継承と活用の可能性を探ります。



『普通裁縫教授書』
渡邊辰五郎 著 石川治兵衛 発行 明治13年



渡邊辰五郎考案の教具類
左上から 袖形、襷形、雛形尺 すべて明治時代



裁縫雛形「婦人服」
明治38年製作 H425mm
縮尺約1/3



裁縫雛形「弁護士礼服」
明治38年製作 H495mm
縮尺約1/3



裁縫雛形「女筒単服」
大正9年製作 H325mm
縮尺1/2

すべて東京家政大学博物館蔵、重要有形民俗文化財

関連イベント

東京家政大学創立140周年記念シンポジウム

「裁縫雛形が語る女性の学びと装い」

[日時] 2021年11月6日(土)
13:00~15:30

[開催方法] オンライン配信

[参加方法] 事前申込み制
詳細は当館HPをご覧ください

第1部 基調講演
難波 知子 氏 (お茶の水女子大学准教授)

第2部 「裁縫雛形研究」報告会
濱田 仁美 氏 (本学服飾美術学科教授)
杉野 公子 氏 (同准教授)
金子 真希 氏 (同講師)

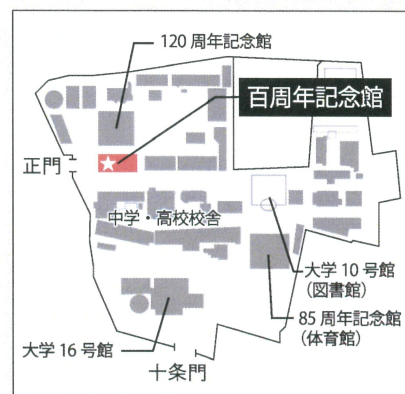
常設展のご案内【入館無料】

常設展① 学園の歴史

- ・学園の歴史と創設者
- ・渡辺学園裁縫雛形コレクション
- ・渡辺学園の歩み

常設展② コレクション展示

日本の食-調味料のさしすせそ-



新型コロナウイルス感染症等の事由により会期等が変更になる場合があります。最新の情報は当館HPをご確認ください。

また、展示室混雑を避けるため入館をお待ちいただく場合があります。

